

議会全員協議会を踏まえた修正点について

2章

P55~59

- ・障がい児の卒後対策の具体性がない

→**対応** P55 今後 4 年間の重点的な取組み①、②にも記述しているが、P59 の B4-2-3 に「就労への支援」を加え、説明に「就労による社会参画や生きがいなど、暮らしの基盤となる就労支援の充実に努めます」と追記する

3章

P68

- ・コミュニティエリアのゾーニングに関して、「核」と「拠点」の違い等について整理して記述することを要望する

→**対応** 以下のように文章を修正する

今後は、コミュニティセンターをコミュニティの拠点とするとともに、新たに学校をコミュニティの核と位置付け、この二つを軸とすることを基本としていきます。~~ただし、これらのいずれかコミュニティセンターが配置されていない地域においては、他の施設での機能補完活用も含めて検討していきます。また、コミュニティエリアは、その他の計画の圏域や施設の整備計画を拘束するものではありません。~~

P78

- ・平和事業について大きく打ち出すべきではないか

→**対応** C3-1-1 の 1 点目に、「非核平和都市宣言を行うとともに、平和市長会、非核平和自治体協議会に参加し、全国の想いを共有する自治体と連携し、平和への意識を啓発していきます。」という文言を追加する

6章

P107

- ・原発事故による放射性物質について記述することを要望する

→**対応** P107 現状と課題 7 行目、「生物多様性の保全」の後に、「放射性物質による汚染」と加える

計画の実現に向けて

P120

- ・官製ワーキングプアの問題と公契約条例について大きく項目として位置付けた方が良い

→**対応** P120 下段◆こんな取組みを行いますの「公契約条例」、「公共サービス基本条例」の用語にかぎ括弧をつけて強調する

P121

- ・庁舎整備を推進するならば具体的に記述するべきではないか。

→**対応** 防災拠点として耐震性を備えた庁舎は早急に整備していく必要がある。「計画の実現に向けて」P121 にも記述はあるが、P91 E1-1-5 にも、「市役所本庁舎の今後について、改めて防災の視点に立った検討を進めます」という文言を追記する。また、P129 大きな財源を伴う施設整備等一覧の「防災拠点としての庁舎整備」を「防災拠点としての庁舎整備のために基金を積み立てるとともに、東日本大震災の影響を踏まえ庁舎整備に向けた具体的な取組みを行う」と修正した

〔その他の修正点〕

・「和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターの整備」及び「百草団地会館の再整備」を大きな財源をともなう施設整備等一覧から削除するとともに、今後 4 年間の財政見通しについても推計し直した。このことに伴い、下記の点について修正を行った

→P124

・ 財政の見通しの図表を修正後の数値に差替えた

→P124・125

・ 本文中の財源不足額を約 81 億円から約 74 億円に修正した

→P126

・ ◆歳出「(7)普通建設事業」の説明を下記のとおり修正した
各年度の普通建設事業費については、~~40 億円以内を目安とし、~~将来の財政負担を考慮して新たな公共施設の建設は極力抑えていきます。

→P129

・ 「大きな財源を伴う施設整備等一覧」

「和田・東寺方周辺地域コミュニティセンターの整備」、「百草団地会館の再整備」を一覧から削除